

[特集]各事業所の様子と新年度に向けて

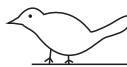
そよかぜだより

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第149号

発行2022.4.17

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

042-578-0855

fax.042-578-0466



新年度事業に向けて

清 明の季節を迎え、当法人の事業におきましても新年度の門出となりました。令和3年度は、新型コロナウイルス対策に当法人の本業である障害者支援事業活動も対応に追われる一年となりましたが、引き続き利用者の安全安心を第一に地域に求められる障害者福祉事業を推進してまいります。

新型コロナウイルスの余波は、社会経済活動にも大きな影を落しており、当法人事業所を利用される方々の利用者工賃に係る就労支援活動にも影響をきたしている面もあり、当法人といたしましても大きな課題であ

ると考えております。就労支援活動におきましても事業所内感染を防ぎながら、利用者の工賃に影響がないような策を講じるなど、法人全体が一味同心となり新たな取り組みをすすめてまいります。また、障害者福祉制度の変遷に適応化を図りつつ、事業運営の基幹である法人運営において、しっかりした業務運営の人材確保と資質の向上に務め永続的な支援活動の強みが発揮できる組織運営に取り組んでまいります。

本年度の各事業の計画につきましては事業所長より後述させていただきます。

社会福祉法人そよかぜ

令和4年度 事業計画概要

社会福祉事業

法人本部

将来に向けて安定した法人経営を継続するために、今後予想される職員の世代交代や法制度改正等への対応などに重点を置き、適宜優先順位をつけながら着実な事務遂行を図ります。

福祉作業所ひばり園(就労移行支援=定員6名)

利用者個々の希望や適性に応じた職場への就職活動を支援するとともに、安定した事業継続のため、支援スキルの向上と業務の効率化を図ります。

福祉作業所ひばり園(就労継続支援B型=定員70名)

安定した事業運営のため、利用者への適切な支援を提供していく中で、業務内容や効率の見直し改善に努め、利用者支援の向上を目指します。

リサイクルショップくれよん(就労継続支援B型出張所)

くれよんでは、地域の皆様からご提供いただいたりサイクル品の販売を通して、ひばり園利用者の作業活動やスマイル工房のパン・クッキー販売の支援を継続します。本年度も、安心安全な利用者支援とお客様サービスの一層の充実に努めます。

福祉作業所ひばり園(就労定着支援)

一般就労した利用者がそれぞれの職場で、持っている力を最大限に發揮し、安心して長く勤めることができるよう障害者就労に伴う様々な課題に対応した支援を行

います。

福祉作業所スマイル工房(就労継続支援B型=定員40名)

個別の事情や障害特性を踏まえた支援の方向性を職員間で共有し、利用者が安心して作業活動等に取り組めるような働きかけや環境整備を行います。

指定特定相談支援事業所ゆい

コロナ禍には最大限の配慮をしつつ、多様化する地域社会で生活する利用者が、その希望や適性に応じた障害福祉サービスを遅滞なく利用できるように、より質の高い計画相談支援サービスの提供に努めます。

公益事業

羽村市障害者就労支援センター エール

一般就労を希望する障害者の就労機会の拡大と、安心して働き続けられるよう、就労面とそれに伴う生活面の支援を行います。コロナ禍制限下の中でも工夫を凝らし、引き続き就労支援事業の運営と継続に努めてまいります。

収益事業

資源回収

資源回収では、車両を使用することから交通安全の意識を高め、利用者をはじめ、ボランティア等の協力者も安全で安心した活動ができるよう支援します。

令和4年度 社会福祉法人そよかぜ当初予算額

法人全体 事業別収入 289,521,000円

単位：千円



法人全体 事業別支出 288,657,000円

単位：千円



各事業所の様子と新年度に向けて

福祉作業所ひばり園

所長 根岸 徹



令 和3年度も新型コロナウイルスの蔓延が収まらず、これまで以上の感染防止対策を余儀なくされる状況となりました。しかしそんな中、一年延期で行われた2020東京オリンピック、パラリンピック、2022北京冬季オリンピック、パラリンピックが開催され、活躍する選手たちから感動と力をもらいました。



これから面接に行きます。

就労移行支援では、上半期は企業見学や実習などの機会、就職活動は新型コロナの影響を大きく受け減少しましたが、下半期になってからは就職活動の機会が増え、5名が希望の企業に就職することができました。就職した利用者から「困ったときはひばり園で学んだことを思い出して実践しています」という言葉を聞き、支援員としてのやりがいと責任感を改めて実感することができました。

就労定着支援では、コロナ禍でも皆さん概ね安定して勤務を継続することができています。東京都教育

委員会チャレンジ雇用(※)で都立高校の事務をされていた方が期限の3年を迎えるにあたり就職活動の支援を行いました。自身の課題に積極的に取り組み改善していく姿が職場で高く評価され、さらに3年間シニアアシスタント(チャレンジ雇用)として都立施設に雇用されることが決まりました。

※チャレンジ雇用 自治体等において働く意欲のある障害者を非常勤職員として雇用し、1~3年の業務経験を踏まえてハローワーク等を通して企業等への就職につなげる制度。



敷地内にある樹木の生育確認と計測する作業をしています。

また、自動車販売会社で洗車の仕事に就いた方は、職場内でのコミュニケーションの取り方に悩んだり、ちょっとしたミスで自信が持てなくなってしまうがありました。支援員が職場訪問した際には、その方の性格や特性などを知って頂けるよう一緒に働く方々にはたまきかけたり、上司の方と出来ていることを確認し、ご本



洗車後、水滴を飛ばし拭き上げる作業をしています。

人にフィードバックしていただく機会を持つことで自信を持って業務に取り組むことができるよう支援を行いました。

就労定着支援事業は開所から3年を迎えるました。事業の内容や役割が浸透してきたことで、利用者にとって就職後も安心して相談できる場所として定着してきたように感じられます。利用期限の3年(勤務開始から3年6ヶ月)を迎える利用者の方を各市障害者就労支援センターへ引き継ぐ支援も行われるようになりました。

就労継続支援B型ではペアリング組み立て作業や農耕具部品個装作業など、多くの作業量を受注することができました。施設外就労(2企業)では企業側からの要望で週1日から2日に日数を増やして対応しました。企業内に作業場所の確保と作業の切り出しをしていただき、利用者4名と職員1名のグループで作業を行っています。回数が増えたことにより施設外就労を経験できる利用者が増え、就労意欲の向上と工賃アップに大きく寄与することができました。コロナ禍の不安定な情勢の中、各企業との繋がりに感謝するとともに、毎日忙しくても作業をやりきる利用者の皆さん之力を実感することができました。



農耕具部品個装作業の様子。

リサイクルショップくれよんでは、感染防止対策をとりながら通常営業することができました。おかげさまでたくさんの提供品と、多くのお客様にご来店いただくことができました。昨年度途中から、近隣で活動されているはむらメンタルサポートの会トワ・エ・モワ様専用の販売コーナーを設けました。メンバーの方がひとつずつ手作りした様々な作品が並んでいます。販売できることは作品作りの励みになると大変喜ばれています。手に取ったお客様からも作品のクオリティーの高さに大変好評をいただいております。

新型コロナ感染拡大の影響を常に心配し、明日はどうなるか分からぬという状況の中、できる限り通常通りの事業を行うためには普段以上の工夫と配慮が必要です。



リサイクルショップくれよんでは、いつも笑顔でお客様をお迎えしています。

要です。令和4年になってからはオミクロン株の感染が急拡大しました。羽村市近隣でも感染者の情報が聞かれるようになり、保育園や小学校が休業となり保護者である職員は勤務できない状況となるなど、支援現場は常にひっ迫した状況が続いています。

そんな中、変わらず作業(仕事)があることは利用者の方のモチベーションとなり、安定につながっています。働く意義は収入を得るためだけではありません。持っている力を発揮することで自信や達成感が得られます。さらに仲間や社会とのつながりが感じられることで人生を豊かにしてくれます。作業がなくなったり、ひばり園が休業してしまったりすることがあれば、これらのバランスが崩れ、たちまち生活が不安定になってしまいます。

新型コロナウイルスの感染拡大はなかなか終息とはいはず、飲食店や接客業、エンタメ業界、レジャー業界など様々な業種で厳しい状況が長期化しています。しかし私たち福祉職はエッセンシャルワーカー(人々の生活にとって必要不可欠な労働者)として障害者の生活を維持するため、ひばり園を休業することなく支援を継続することができます。利用者、職員の生活を守るためにも、仕事があることの有難さを改めて感じられた一年でした。

新年度を迎え気持ちを新たに、仕事を頂けていることに感謝をしながら利用者、職員が一丸となって精一杯努めて参ります。利用者・保護者の皆様、関係機関・企業の皆様からの本年度も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

福祉作業所ひばり園

東京都羽村市栄町3-3-1
☎042-555-5512

リサイクルショップくれよん

東京都羽村市富士見平2-2-14
☎042-578-2575

福祉作業所スマイル工房

所長 河村 茂



新型コロナウイルス終息の兆しが見えないまま令和4年度がスタートしました。ちょうど1年前になりますが、令和3年度の最優先の取り組みとしてコロナ対策を徹底して事業運営を滞らせないことを掲げました。利用者の方にも、正しいマスクの着用・ソーシャルディスタンス・こまめな手洗いや消毒を呼びかけ、感染対策を意識して日々の活動に取り組みました。1年が経った今でも、この取り組みは継続しておりますが、大事に至ることなく年度を終了することができました。令和3年度も予定していた行事が中止になり、いろいろな面で行動が制限されてきたため、窮屈な思いでの作業活動等が余儀なくされました。やむを得ないのですが、安心できるまで引き続き、令和4年度もコロナ対策に努めてまいります。



カフェ直結の厨房で作られた焼き立てパンが並ぶ店内。コーヒーのお供に購入して寛ぐお客様の姿もあります。

就労支援活動のパン・クッキー製造販売部門では市内のイベントや催事が中止になり、また納品先の販売店の客足に影響が出た所もありました。軽作業部門は受注が滞ることもなく、喫茶部門は時短営業でしたが、固定客を中心に天候によっては大勢のお客様がご来店された時もありました。全体としては一昨年度に比べてコロナ禍の影響は限定的だったように感

じました。

昨年暮れごろ、広報はむらにおきましてスマイルカフェを取り上げていただき、取材を受けました。広報はむらに掲載されたことで、スマイルカフェやスマイル工房について市民の皆様に知っていただいくいい機会となり、



自然豊かな景色を楽しめるカフェ店内。散歩の途中にお立ち寄りいただくお客様もたくさんいらっしゃいます。

カフェの来客数にもつながりました。掲載後も、スマイルカフェに対するお問い合わせが増え、広報はむらの影響力の大きさを実感しました。また、羽村市内に住む高校生が部活のコンクール発表の題材としてスマイルカフェの取材に訪れました。取材インタビューでは、利用者がスマイル工房で働きながら自立を目指す想いを自分の言葉で伝えることができました。この取材がこころの病を抱える人の発信の機会となったことは意義のあることだったと思います。

令和4年度がスタートして間もないですが、スマイル工房に通う利用者の診断名や症状や特性は、千差万別で一人ひとりが異なっています。それぞれの人たちが本来の持っている力を引き出し、前向きに生きられるようなエネルギーに変えていく支援が求められています。その為にも、支援者自身が心身ともに健康で働きやすい職場環境作りを目指していきます。その結果、利用者にきちんと向き合った丁寧な質の高い支援を行



室内軽作業の様子。

うことで通所意欲や作業意欲の向上を図り、ひいては就労支援活動の充実や工賃アップといった実りにしていきたいと思います。

コロナ禍による影響がいつまで続くか先が見通せない状況ですが、本年度はピンチをチャンスに変えられるよう創意工夫しながら前進していきたいと思います。地域住民の皆様やお取引先及び関係機関の皆様方には、今後とも引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

福祉作業所スマイル工房

東京都羽村市玉川2-10-1
☎042-578-2723

指定特定 相談支援事業所ゆい

管理者 堀内政樹



指 定特定相談支援事業所ゆいは、必要なサービスや制度をきちんと利用するために、当事者の皆さん的心身の状況や暮らしている環境を把握し、サービス提供につながるようお手伝いしています。グループホームの利用を始める方が多く、不安と期待に気持ちが揺れながらも引っ越し、だんだんと新しい生活に慣れていくにつれ、その方らしさがみられるようになる場面に立ち会うことができました。新たな一歩を踏み出す際は、時には調子を崩すこともありますが、**自分的人生を自分で作る誇り**を胸に自分のペースで進まる姿は、感慨深く、私たちもパワーを頂きました。また、私たちが関わる皆さんには支援チームがあり、その方々と一緒にご本人の思いを実現しようと相談しながら進めていきます。このネットワークの大切さは日頃から感じていますが、昨年度もまた、新しい関係機関の皆様に出会



うことができ、一段と心強く思っています。

本年度ゆいは、地域で暮らす障害のある方々を取り巻く社会情勢や利用可能な福祉資源についての学習や情報収集を積極的に進めるとともに、関係諸機関や利用者一人ひとりが持つ支援ネットワークとの連携を密にし、個々のニーズに即応した計画相談支援サービスの提供に努めます。また、ここしばらくは昨年度に引き続きコロナ禍による様々な制限を受けながらの業務遂行になることが予想されますが、できる限りの創意工夫で皆様のご期待に沿えるよう頑張ってまいります。よろしくお願ひ致します。

指定特定相談支援事業所ゆい

東京都羽村市栄町3-3-1
☎042-555-5512

羽村市障害者 就労支援センター エール

センター長 榎戸勇也



新 年度を迎え、春の日差しが心地よく感じられる季節となりました。今年も特別支援学校の卒業生が新たに登録され、この4月より新社会人として企業就労をされています。羽村市障害者就労支援センター エールも今年で15年目に入り、開所当時に登録され

た卒業生も今は30代となりました。勤続年数が10年を超える方も多くなっています。おそらく彼らも10数年前の4月は期待と不安と緊張で迎えていたことでしょう。振り返るとご本人、ご家族、企業様と共に歩んだ15年ありました。引き続き、障害のある方の就労支援機関として支援の向上に努めていきたいと思います。

さて、昨年度は西多摩地域でも対面での面接会が開催されるなど、一昨年に比べると障害者の雇用も徐々に回復傾向にありました。企業によっては仕事の見直しを行い、在宅勤務を取り入れ、また新たに雇用を開始した会社もあります。障害者求人件数も増加傾向にあり、ご相談者では新規就職や転職希望がかなった方もいらっしゃいました。

一方、飲食関係で働かれている方は、まん延防止の延長に伴い、自宅待機が続いた方もいました。業種によってはまだまだ厳しい状況が続いています。長引くコロナ禍では、余暇の過ごし方についても、それぞれが工夫をしながら過ごされていたようです。昨年度、就労者を対象にアンケートを取ったところ「自粛が続き不安やストレスを抱えている」「自宅で過ごすことが多い」という方が多くいることがわかりました。エールでも余暇のイベントは中止していましたが、何かできないかと職員で検討し、小さいながらも事業所の一角で、登録者が趣味で作成した作品の展示会を開催しました。ビーズのアクセサリーや写真の展示、2,000ピースのパズルを持ってくれた方がいらっしゃいました。



ビーズで作られたアクセサリーや地域の風景写真、編み物や切り絵など趣向を凝らした作品の数々。根気よく組み立てられた2,000ピースのパズルも展示しています。

また昨年度は生活面に関する相談も多く、中にはご家族にまつわる相談等がありました。ご本人が年齢を重ねるとともに、ご家族にも変化が現れます。就労の継続にはご家庭でのサポートが大きく、生活面の変化は

就労にも影響があります。そのためご本人のライフステージに沿った相談はこれからも増えていくと思われます。生活のご相談は内容が多岐にわたることから、医療機関や生活支援機関、介護事業所などとも連携を取るケースがあります。そのたび地域でのネットワーク構築の重要性を実感しています。本年度は幅広い相談に対応できる支援スキルの向上を図るとともに、地域での関係機関との連携も強化していきたいと考えています。



羽村市役所実習について

コロナ禍ではありましたが感染対策を行い、令和3年度羽村市障害者市役所実習を年3回(1期を2ヶ月にかけて)実施いたしました。市役所実習ではその方の作業能力だけではなく、立ち振る舞いやビジネスマナーについてもアセスメントしています。そして支援員として、この方が一般就労していくには何を身につけていくのがいいのか、どのようなことを会社へ伝え、配慮いただければ働くのかを考えながらサポートしています。引き続き参加者が一般就労へつながるよう、実習の内容をより一層充実させていきたいと思います。



羽村市障害者就労支援センター エール

東京都羽村市神明台1-27-4
☎042-570-1233

グリーンボランティア募集します

人は植物や自然と触れ合ふことで心が和まるかと思います。農林水産省の報告によると、花のある部屋で過ごす人は、花のない部屋で過ごす人に比べて交感神経の活動が25%も抑えられるそうです。科学的にも植物には人の心の状態をコントロールする力があることがわかっています。

スマイル工房の花壇では、加藤理事長が植えていただいたジャーマンアイリ

スが季節を楽しませてくれています。

新たな試みとして花壇や植栽等の維持のためのグリーンボランティアの活動に取り組んでいます。花や植物を育て、いろいろな方が見ていただき、心穏やかになることを願って、グリーンボランティアとしてご協力していただける方を求めていきます。ご協力をいただける方は事務局ボランティア担当までお気軽にご連絡ください。

コラム「福祉の時をつかむ」



作業中の関口ボランティア(左)と加藤理事長(右)。

社会福祉法人そよかぜ事務局

☎042-578-0855

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

新年度がスタートし、ひばり園にフレッシュな仲間が増えました。ここ数年は感染症対策のため、数名の利用者が代表として出席して、新しい利用者を歓迎しています。先輩利用者からの心のこもった歓迎の言葉をもらい、緊張しながらも入所への抱負を発表していました。先輩利用者によるお祝いのピアノ演奏が流れ、窓の外には満開の桜が風で揺れていきました。これからひばり園にどんな新しい風が吹くのかワクワクします。

リサイクルショップくれよん

自主制作品に新しくアクリルたわし(100円)が加わりました。カラフルな刺し子糸で縫ったぞうきん(50円)も好評発売中です。4/18(月)～4/27(水)まで春物衣類半額セールを予定しております。是非お立ち寄りください。併せてご提供品もお待ちしております。ご提供いただける品物についてはホームページまたはスタッフまでお問い合わせください。

●GW休業4/30(土)～5/8(日)。



福祉作業所スマイル工房

Smile Caféでは春にピッタリの限定メニューイチゴミルク販売中です。昨年、大

変ご好評いただいた人気メニューです。今季のいちごミルクはボリュームアップしており、さらに飲みごたえ抜群です。春の散策の休憩にカフェで召し上がるのもおすすめですが、お持ち帰りもできます。Smile Caféでは新型コロナウィルスの感染対策を行いお寛ぎいただける環境を整え、皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

先日見た好きなテレビ番組の20周年記念特番の中で、こんな言葉がありました。「私たちの常識=世間の非常識」。金融機関再編の内容でしたが、金融機関に限ったことではないと思いました。時代の流れによって、今まで常識だと思っていたことが常識ではなくなることもあります。福祉制度も様々な変遷を辿り、事業運営の手法も変わってきています。ただ、福祉職として持つていなければならない想いは変わらないはず。毎日挨拶を交わす人たちには幸せでいてほしいと思うのです。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局

☎042-578-0855

福祉作業所ひばり園

☎042-555-5512

福祉作業所スマイル工房

☎042-578-2723

リサイクルショップくれよん

☎042-578-2575

羽村市障害者就労支援センター エール

☎042-570-1233

指定特定相談支援事業所ゆい

☎042-555-5512